

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2014

April
No.1026

4月

表紙

新本別町学校給食
共同調理場



特集

町政執行方針・教育行政執行方針

町民生活に密着し、
夢の持てるまちづくり

町民生活に密着し、夢の持てるまちづくり

3月4日の町議会第1回定例会で、高橋正夫町長が町政執行方針を、水谷令子教育委員長が教育行政執行方針を示しました。平成26年度のまちづくりの方向性について、その概要をお知らせします。



町政執行方針を述べる高橋正夫町長

平成26年町議会第1回定例会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方と施策の大綱について申し上げ、町民の皆さまをはじめ議員各位のご支援ご協力をお願いいたします。

昨年8月の町長選挙におきまして、まちづくりの重点目標として「協働で安心と活力と夢あふれるまちづくり」を掲げ、町民の皆さまの信任を賜り、引き続き町政を担うことになりました。平成9年に就任以来、創意と活力に満ちたまちづくりが推進できましたことに対し、改めて敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

町政に臨む基本姿勢

平成26年度の我が国経済は、施策の推進等により前年度に続き堅調な内需に支えられた都市部では景気回復が見込まれ、好循環が徐々に実現されるとは思います。地方においてはその実感がなく、依然として景気の低迷が深刻化しており、今後の地方財政を取り巻く環境は、厳しい状況が続くものと思われま

す。また、本年4月1日に消費税率が5%から8%に引き上げられ、その駆け込み需要とその反動減が予想され、自治体会計にも大きな負担となっています。

しかしながら、これを本町財政の視点で見ますと、地方交付税は、地方財政計画では前年度を下回り、町税収入の増加も見込めず、さらに国・道補助負担金の一般財源化や削減など歳入の確保が難しく、他方では、地域経済の活性化や雇用機会の創出、福祉・医療などの地方負担が増加し、行政需要に対する財源不足が生じるなど、厳しい状況にあります。

民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方でできる限り有利な財源の確保など、将来に向けた財政基盤の確立にも配慮をしたところであります。

の日宣言」の理念のもと、関係機関・団体と連携を図りながら、四つの風事業の推進と教育環境の向上に努めてまいります。

②地域資源を活かした豊かなまちづくり

本町農業については、国内経済ならびに異常気象の影響を受けるなど依然として厳しい状況に置かれていることから、今後も引き続き農業・農村の持続的発展に向け、安全・安心で良質な農畜産物の安定供給と環境保全などの役割を推進するため、農業者・関係機関との連携を図り、担い手の育成・確保対策、鳥獣被害防止対策、土づくり事業、てん菜の作付振興対策および新規作物の導入に向けての調査研究など効率的かつ安定的な施策を積極的に展開してまいります。



農業は地域を支える基幹産業

次に、畜産振興につぎましては、良質で安全・安心な生乳の増産体制確立のための搾乳牛の導入および黒毛和牛の確保対策により畜産経営の安定を図ってまいります。さらには、家畜自衛防疫体制の強化および家畜排せつ物の管理適正化を推進してまいります。

農地の基盤整備につぎましては、道営畑地帯総合整備事業等により基盤整備事業を推進する

①生涯を通じて学び、夢と未来を育むまちづくり

子供たちが将来の夢や希望をしっかりと描き、未来に大きな目標をもつて、生きていく心を育む環境づくりが求められています。

次に、畜産振興につぎましては、良質で安全・安心な生乳の増産体制確立のための搾乳牛の導入および黒毛和牛の確保対策により畜産経営の安定を図ってまいります。さらには、家畜自衛防疫体制の強化および家畜排せつ物の管理適正化を推進してまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。

次代を担う子供たちの、充実した学びの環境づくりを進めます



子供たちが将来の夢や希望をしっかりと描き、未来に大きな目標をもつて、生きていく心を育む環境づくりが求められています。

次に、畜産振興につぎましては、良質で安全・安心な生乳の増産体制確立のための搾乳牛の導入および黒毛和牛の確保対策により畜産経営の安定を図ってまいります。さらには、家畜自衛防疫体制の強化および家畜排せつ物の管理適正化を推進してまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。

次に、観光の振興につぎましては、北海道横断自動車道の開通により、道央圏を中心に十勝地域への交流人口が大幅に増加していることから、本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、本別ならではの「食」など、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。



町民が安心・安全に暮らせる「福祉でまちづくり」を推進します

域情報の提供をはじめ、各プロモーション活動などを通じて、圏域外からの移住・交流の促進に取り組みます。

③ともにお支えあい、安心、安全に暮らせるまちづくり

ともに支え合い、いつまでも安心して暮らせるまちを願う、町民の総意により宣言していた「福祉でまちづくり」を合言葉に、地域住民、福祉団体、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、重層した福祉サービスの提供とネットワークづくりを進めてまいります。

地域福祉の充実につきまして、「在宅福祉ネットワーク」活動への支援、「安心生活創造事業」の充実に努めることにも、災害時要援護者避難支援計画につきましても、引き続き推進してまいります。

次に、児童福祉につきまして、「子ども未来課」の設置により、幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとともに、新たな支援制度への移行に向け、「子ども・子育て支援事業計画」の策定をはじめ必要な準備を進めます。子育て支援の一環として第3子以降の保育料の無料化を図るとともに、誕生記念品の贈呈な

ど若い世代にとつて子育てしやすい、魅力ある町づくりを進めてまいります。さらに、保育と子育て支援の総合的な拠点施設としての「(仮称)子ども未来センター」の整備構想の検討を行ってまいります。また、安心して子育てができるように、課税世帯の小中学生に係る医療費の町単独による全額補助拡大を8月から実施してまいります。

高年齢者福祉および介護保険事業につきましては、高年齢者福祉施策の充実および介護保険事業の安定した運営に努めることにも、本年度改定する「第6期銀河福祉タウン計画(平成27年度～29年度)」は、高年齢者実態調査を実施して高年齢者や地域の課題をより具体的に把握し、施策の充実を図ってまいります。

地域包括支援センターでは、介護予防マネジメント、高齢者虐待防止や介護相談員、やすらぎ支援員の派遣事業など活動の充実にも努めることにも、さらなる介護予防事業等の充実と強化を図ります。

権利擁護事業につきましては、社会福祉協議会による法人後見業務の取り組み、あんしんサポートセンターに対する支援に努めてまいります。

次に、障がい者福祉につきましては、「居住の場」の確保など生活の安心の拡大に向けた基盤整備について検討を進め、町内NPO法人や関係機関と協議を進めます。さらに、チャレンジ雇用による中間的就労から一般就労へとつながるよう社会訓練の場の提供と支援を引き続き行なってまいります。

健康管理センター事業につきましては、各種検診事業や健康教育などの充実を図ります。

母子保健につきましては、乳幼児健診や母親への支援事業を推進するとともに、入院治療を必要とする未熟児に対して養育医療の給付事業を引き続き行います。

感染症対策につきましては、乳幼児予防接種の接種率の向上を図るため、保護者に対して十分な周知に努めるとともに、町内の医療機関と連携を深め接種体制の充実に取り組みでまいります。

成人保健につきましては、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診の新規受診者や未受診者に対する啓発に努め、受診者

数の拡大を図ります。心の健康づくり事業につきましては、月1回心理カウンセラーによる「心のほつと相談」を引き続き開設し、相談体制の充実に努めてまいります。

老人ホームの運営につきましては、利用者のニーズや状態に合ったサービスを提供するとともに、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。

老人ホームの改築につきましては、本別町地域包括ケア基盤整備検討委員会が検討を進め、関係団体の意見の集約や町民説明会を実施し、今年度基本構想をまとめます。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、本年度も税率改正は行わず、基金の繰り入れなどで対応してまいります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、本年度、新保険料率が示されましたが、今後とも高齢者等にかかる医療制度の情報収集を続け、運営主体の広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業につきまして、「中・長期計画」を推進し、病床数60床の維持や初期救急など現在の医療水準の確保を図り、周辺地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

引き続き医師、看護スタッフなどの確保を進め、外来患者および病床稼働率の向上による収益確保を図りながら、材料費、維持管理費などの経費節減に努め、経営体質の強化に努めてまいります。

防災対策につきましては、年次的に食料・物資等の整備を行い、町民生活の安心・安全を確保するとともに、「防災研修会」等を開催し、防災意識の高揚を図ります。

さらには、交通事故のない、犯罪のない明るく住みよいまちを目指し、町民一人ひとりの防犯・交通安全意識の啓発に努めてまいります。

④快適でやさしさのあるまちづくり

本年度の町道整備につきましては、継続事業で6地区、新規事業では3地区の道路改良工事等を実施してまいります。

交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河線代替バス、本別・浦幌生活維持路線バス、太陽の丘循環バスや町有バスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。

次に、循環型地域社会ににつきましては、一般家庭への太陽光発電システムの導入助成、公共

施設の先行導入など、CO₂削減による地球温暖化防止への寄与と、消費電力削減による省エネルギー化を目指します。次に、水道は、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良好な水を安定的に供給できるように努力してまいります。下水道につきましては、施設の整備と維持管理に努め、浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図ってまいります。

公園緑地の整備につきまして



憩い、交流の場として多くの人が訪れる本別公園

は、「義経の里本別公園」などの公園施設についても効率的な維持管理を行い、町民の憩いと触れ合いの場としての快適な環境づくりに努めてまいります。

ごみ処理事業の推進につきましては、地域、町民の皆さまのご協力により、ごみの減量化や資源化を進めております。今後より一層のリサイクル率の向上を目指してまいります。

また、銀河クリーンセンターに代わる終末処理場の確保や、生ゴミ・下水道汚泥等を再生可能エネルギーとして活用する方法について検討を進めてまいります。

⑤町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくり

これまでに培ってきた町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくりを進めます。併せて、行政の持つ情報を積極的に公開し、町政の「透明性・公平性」に努めてまいります。

次に、行財政改革の推進につきましては、町民と行政の協働による「新しい公共」をテーマとした第4次行財政改革大綱および推進計画に基づき、体力のあるまちづくりを目指します。

また、町民、議会、行政が連携し町政運営の基本的な仕組み

である自治基本条例の制定に向けた検討を進めてまいります。

次に、広域行政の推進につきましては、十勝の市町村と連携し、定住自立圏構想の取り組みを積極的に推進してまいります。さらに、現在、十勝圏複合事務組合において、本年度、消防救急無線のデジタル化整備工事を着工することになっており、今後とも構成団体として、十勝圏域全体から信頼される消防体制の構築に向けた取り組みに参加してまいります。

「本別町個性あるふるさとづくり寄付金」は、本年度から寄付者に地元特産品を贈呈し、より一層有意義な運用を図ってまいります。

国際交流・地域間交流活動の効果は、豊かな感性を醸成するため、引き続き進めてまいります。

結びに、本町を取り巻く環境は一段と厳しさを増しておりますが、「まち」を支える町民の皆さまの頼もしい力を得ながら、「ともに学び 支えあい 活力のあるまちづくり」を目指すとともに、地域資源を最大限生かした企業誘致、雇用の拡大に向けて全身全霊を傾け積極果敢に取り組んでまいります。

教育行政 執行方針



教育行政執行方針を述べる
水谷令子教育委員長

教育行政執行の 基本的な 考え方

教育委員会では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成など、子供たちがたくましく生き抜いていく「生きる力」を育む教育をより一層推進するとともに、子供たちの教育やまちづくりに主体的に参画する「人づくり」を進めます。また、いつでも、どこでも、誰もが学ぶ、生涯学習社会による協働のまちづくりの観点から「ほんべつ学びの日事業（四つの風）」のさらなる充実を図ります。

主要施策の推進

学校教育につきましては、全国学力・学習状況調査等で、これまでの取り組みによる一定の成果が見られましたが、その結果分析を踏まえ学校改善プランなどを作成し、確かな学力の向上を図るための授業改善・工夫と望ましい生活習慣や学習習慣の定着などが身に付くように、それぞれの学校が特色ある教育課程の編成に努めます。また、家庭学習においても、家庭学習の手引きなどの活用方法を工夫し習慣化を図り学力向上に向けた取り組みを推進します。

豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進では、道徳教育の充実により規範意識や命を大切にする心や思いやりの心を身に付けるため、地域の皆さまの知識と知恵を積極的に活用し、さまざまな体験活動を通して豊かな社会性と人間性を育んでまいります。

特別支援教育につきましては、町内全校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの子供たちに応じた個別支援を充実します。

いじめや不登校の根絶に向けた取り組みでは、スクールカウンセラーの配置や教育アドバイザー、子供たちを健やかに育む体制を構築する中で、より効果的な学校支援に努めます。

本別・南三陸ふるさと交流研修は第30年次を迎えますが、両町の子供たちの絆をさらに深めることができるよう推進します。本年度の新たな事業では、ふるさと本別をよく知ること、本別町を理解し本別町を愛し、本別にしかない魅力や地域の輝きを発見するために「ほんべつ学」講座を図書館、資料館と連携し開設いたします。

公民館活動につきましては、町民が主体的に取り組む講座や子供たちに「ものづくり」の楽しさを体験してもらう教室のほか、芸術文化活動の促進を図るため、個人・サークル・文化団体と連携し、展示会や各種発表会など、自主的な文化活動に対する支援と、伝統文化の茶道や舞踊等の継承活動の支援に努めます。

図書館事業では、「フアーストブック事業」を継続し、絵本を通して親子の触れ合いが心の財産となるよう進めます。また、児童生徒の想像力・表現力を高め国語の学力向上を図るため、絵本づくり講座、本のまち夢づくり事業や文学世界をテーマにした写真展や講演、出前授業を開催いたします。

ザーの定期的な学校訪問などにより、未然防止と早期発見、早期解消に向けた児童生徒へのきめ細かな指導の充実を図ります。国際理解教育につきましては、小中学校に英語指導助手を配置し、実践的コミュニケーション能力の育成と英語に慣れ親しむ活動の充実を図ります。また、姉妹都市オーストラリア・ミッチェルに中高生を派遣し、ホームステイにより生活習慣や文化・歴史・自然を体験し、学校訪問や市民との交流を通して国際的な視野を広め、両町の交流と親善を深めるなど国際理解教育の推進を図ります。

勇足小学校と立江小学校との交流研修では、友好都市「徳島県小松島市」へ勇足小学校の児童を派遣し相互交流研修などを通してさらに絆を深める事業を推進します。

教育環境の整備につきましては、各学校の施設・設備等について必要に応じた修繕や改修などにより整備充実を図ります。また、老朽化したスクールバス（1台）の更新を行いスクールバスの安全・安心な運行に努めます。

本別高校への支援活動につきましては、中学卒業生数も減少しますが、本別高校の存続、2間口

資料館では、「7月15日本別空襲を伝える」企画展を開催し、空襲被害を受けた本別と道内の他のまちの空襲の関わりを考えるとともに、歴史学習や平和学習の場としての活用を図ります。

また、図書館・資料館事業として、子供たちが「木」を通してふるさととの歴史や自然を学び、体験と交流を深める活動を通して「木材のまち・ほんべつ」を発信します。

社会体育活動では、年齢や性別を問わず、スポーツを楽しむことができるよう「あかげら少年団」「健康づくり教室」などを実施するほか、「ノルディック・ウォーキング」など、軽スポーツの普及啓発に努めるとともに

に、町民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」を開催し、町民の健康づくりやスポーツ

の確保が緊急的課題であります。本別高校および本別高校の教育を考える会と連携を図りながら、魅力ある学校づくりの各種支援策を継続するとともに、本年度からは、通学費を全額補助とするほか、新たな支援として、新入学生の制服の購入費を助成することといたしました。今後とも本別高校への進学を促すべき近隣中学校への支援策のPRなど、地域の高校としての存続活動を強化します。



本別産食材を使ったメニューの給食を楽しむ児童

ましく生きていけるように、また、町民の皆さまが芸術・文化やスポーツに親しみ、明るく元気で、喜びと希望に満ちた暮らしとなりますよう取り組んでまいります。

の振興、地域の活性化を図るため町民皆スポーツの推進に努めます。また、本別公園を会場に子どもから高齢者まで、スポーツに、健康づくりに親しめる「義経の里スポーツフェスティバル」を開催します。

教育委員会としましては、子供たちが恵まれた自然や深い歴史と素晴らしい風土の中で、心豊かに、そして、健やかにたくましく生きていけるように、また、町民の皆さまが芸術・文化やスポーツに親しみ、明るく元気で、喜びと希望に満ちた暮らしとなりますよう取り組んでまいります。

新学校給食共同調理場。
安心・安全な給食を提供します



新しい学校給食共同調理場は地元カラマツ材を利用した最新の調理施設として新学期から業務を開始いたします。本年度から食物アレルギー対応（除去食）の給食を提供するとともに、2階研修室から調理室等が見学できる施設となりました。児童生徒はもちろん保護者・町民の皆さまにも研修の場として活用していただくなど、食育の推進に努めます。さらに、勇足と仙美里のへき地保育所に給食を提供することといたしました。本年度は旧調理場等の解体、車庫・物置の設置および太陽光発電パネル設置工事などを予定しています。

社会教育の推進につきましては、第7次本別町社会教育中期計画に基づき、町民が心豊かに生涯にわたり自己実現が図れるよう、各種学習機会の提供や明るい地域社会の創造を目指します。

家庭教育支援事業につきましては、地域のサークル等と連携を図りながら学習機会や情報の提供など、子育て支援や家庭教育に向けた総合的な取り組みを進め、学校支援地域本部事業では、地域ぐるみで学校運営を支



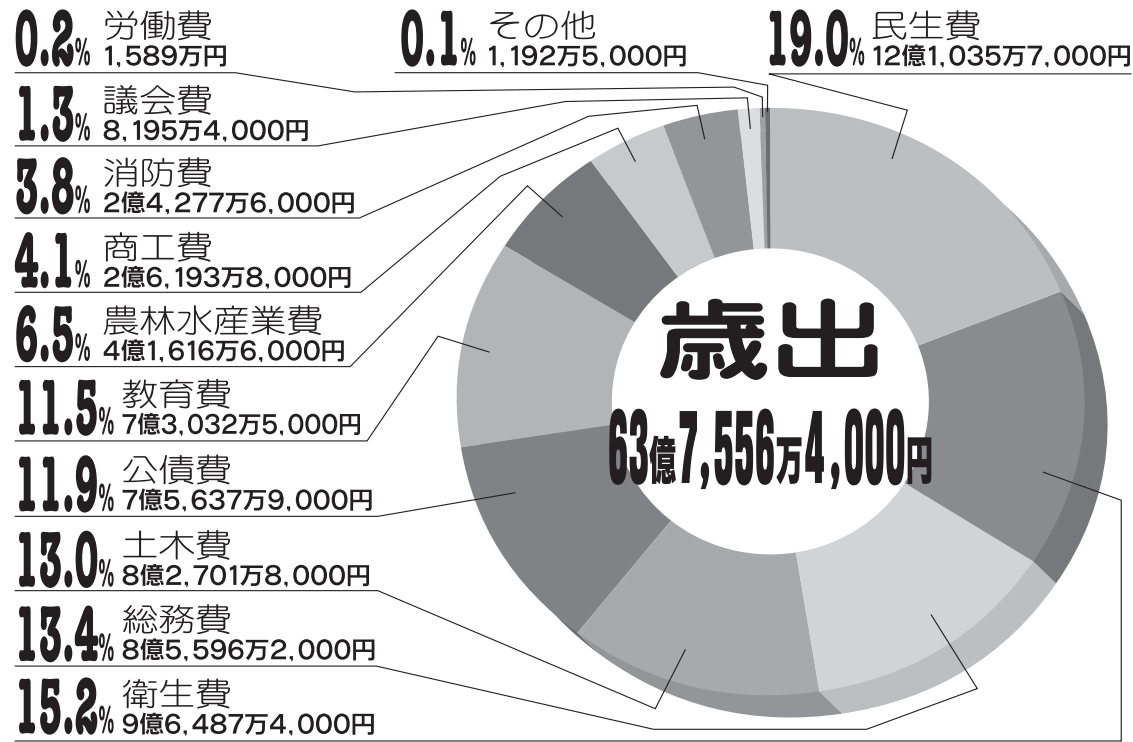
平成26年度本別町の予算

総額 113億4,423万6,000円

一般会計 63億7,556万4,000円

特別会計 31億1,452万5,000円

企業会計 18億5,414万7,000円



一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、63億7,556万4,000円で、前年度当初予算70億5,666万1,000円と比較し、9.7%の減となっております。

歳入については、町税は歳入の14.3%を占めていますが、前年度当初予算と比較すると、1.6%減の9億9,506万6,000円を見込んでいます。主な要因としては、町民税個人所得割が10.1%減、3.1%減、償却資産が10.4%減、8.0%減になったことによるものです。

予算編成

平成26年度の予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせて予算総額113億4,423万6,000円となり、前年度と比較すると4.7%の減となっております。予算編成にあたっては、依然として財政状況の厳しい中、財政の健全化に配慮しながら、総合計画に掲げる本別町の主要課題である(1)新たな仕事づくりの創造(2)少子高齢化過疎対策の取り組み(3)高速自動車道路網、高速通信網の利活用(4)循環型社会の構築(5)地産地消の取り組みを進めるために必要な施策を盛り込んだ予算としました。

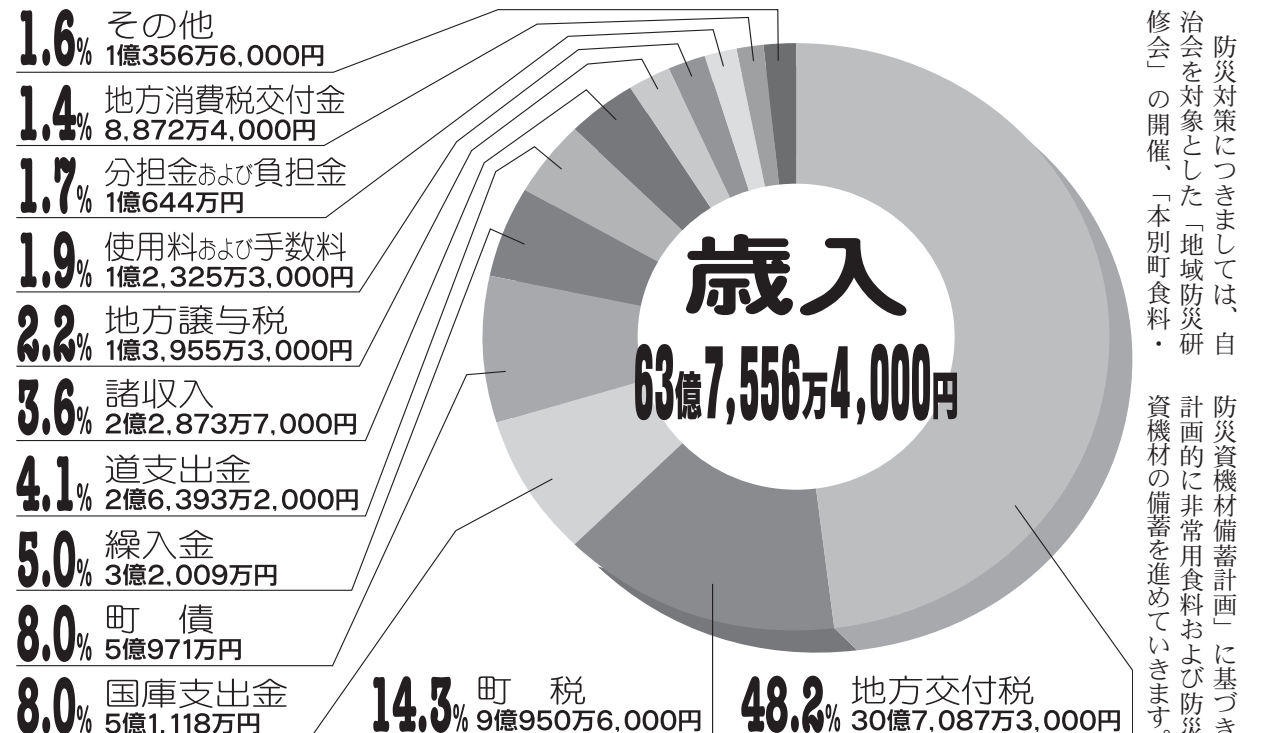
地方交付税は、歳入の48.2%を占めています。うち普通交付税については、個別算定経費の減、公債費算入額の減などから、前年度当初と比較し、0.3%減の28億2,143万7,000円を見込み、特別交付税を含めた地方交付税総額は、30億7,087万3,000円を見込んでいます。

繰入金、財政調整基金をはじめとした基金繰入金を3億2,009万円とし、前年度と比較して、37.3%の増となりました。地方債は、5億9,711万円計上しておりますが、前年度比53.7%の減となっており、主要要因としては、学校給食共同調理場改築事業の5億3,880万円減、都市公園整備事業の5,220万円減によるものです。

歳出については、投資的経費は8億3,686万5,000円を計上していますが、前年度当初予算と比較し、49.1%減となっております。主な要因としては、前年度計上した学校給食共同調理場改築事業の6億6,065万3,000円が減になったことによるものです。雇用対策については、今年度も継続される、国の緊急雇用創出推進事業として8,600万1,000円、季節労働者雇用対策として4,133万4,000円、その他ワークシェアリングおよび障がい者のチャレンジ雇用を計上いたしました。

各会計別当初予算額

会計区分	本年度 A	前年度 B	差引(A-B) C	C/B×100
一般会計	63億7,556万4,000円	70億5,666万1,000円	△6億8,109万7,000円	△9.7%
特別会計	31億1,452万5,000円	31億1,452万5,000円	0円	0.0%
企業会計	18億5,414万7,000円	18億5,414万7,000円	0円	0.0%
小計(1)	94億9,008万9,000円	101億6,530万4,000円	△6億7,521万5,000円	△6.6%
水道事業	1億6,110万円	1億4,635万9,000円	1,474万1,000円	10.1%
資本的収支	1億6,110万円	1億4,635万9,000円	1,474万1,000円	10.1%
資本的収支	8,677万円	3,850万円	4,827万円	125.4%
資本的収支	1億3,162万7,000円	7,984万5,000円	5,178万2,000円	64.9%
病院事業	12億9,875万8,000円	12億6,337万8,000円	3,538万円	2.8%
資本的収支	14億5,906万3,000円	13億7,675万6,000円	8,230万7,000円	6.0%
資本的収支	7,176万5,000円	1億979万1,000円	△3,802万6,000円	△34.6%
資本的収支	1億235万7,000円	1億3,765万4,000円	△3,529万7,000円	△25.6%
合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	113億4,423万6,000円	119億591万8,000円	△5億6,168万2,000円	△4.7%



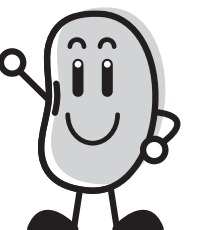
防災対策につきましては、自治会を対象とした「地域防災研修会」の開催、「本別町食料・防災資機材備蓄計画」に基づき計画的に非常用食料および防災資機材の備蓄を進めていきます。



本別町のお金の使いみち

今年度の主な事業あれこれ ☆印は新規事業です

平成26年度予算の主な事業について、ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。



ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

地方分権時代、新しい公共で自主自立のまちづくり

□ 本別町行財政改革の推進

- 第4次行財政改革大綱および推進計画の推進（平成23～27年度）
- ・事務事業の再編・整理、廃止・統合
- ・新しい公共による民間委託等の推進
- ・補助金、使用料、手数料等の見直し
- ・組織・機構の見直し

いつまでも自分らしく、安全・安心なまちづくり

☆「子ども未来課」の設置

- 子どもに関する業務を専門的に取り組み、子どもの施策を総合的に進めることで、子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い子育て世代にとって魅力ある「子育てしやすいまち」を目指します。

☆ 子ども・子育て新制度への対応

- 平成27年4月からの新たな子ども・子育て支援制度移行に向けて準備を進めます。
 - ・子ども・子育て会議の推進
 - ・「子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～31年度）」の策定
- 720万1,000円

☆ 誕生記念・子育て応援事業

- 本町で誕生した子どもへのお祝いと記念に地場産木材を利用した積木とゴミ袋を贈呈。
- 37万3,000円

☆ 第3子以降の保育料負担軽減拡大

- 保育料軽減額
- 1,018万4,000円

□ 障がい者自立支援給付等

- ・補装具給付・修理 身体障がい者等 201万7,000円
 - ・自立支援医療 人工透析等 1,542万4,000円
 - ・在宅精神障がい者通所交通費助成 9万4,000円
 - ・介護給付・訓練等給付 身体・知的障がい者等 2億488万4,000円
 - ・地域生活支援事業
 - 日常生活用具給付事業、移動支援事業、成年後見制度利用支援等
- 1,968万2,000円

□ 生涯マネジメントシステム（地域支え合い体制づくり）事業

- 障がいのある人が、地域で安心して暮らせるよう町関係施設を専用回線で結び、支援に必要な情報が途切れることなくサービスが継続できるように情報共有システムを構築します。
- 56万1,000円

□ 安心生活創造事業

- 一人暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう「見守り」や「買い物支援」を行います。
- 1,040万7,000円

☆ スプリンクラー等整備事業（社会福祉協議会補助金）

- 小規模多機能型居宅介護事務所（3施設）にスプリンクラー等を整備します。
- 1,429万円

□ 介護保険特別会計 市民後見推進事業

- 「あんしんサポートセンター」の運営に対する支援および成年後見活動の支援体制の構築。
- 506万9,000円

□ 地域支援事業

1. 介護予防事業
 - ①通所型介護予防（運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上など）
 - ②訪問型介護予防（うつ・認知症・閉じこもりの予防と支援）
 - ③地域介護予防活動支援（認知症予防教室等の地域活動組織の育成と支援）

1,624万円
2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）
 - ①介護予防マネジメント
 - ②総合相談支援／権利擁護／虐待防止支援
 - ③包括的継続的マネジメント

2,882万円
3. 任意事業
 - ①家族介護事業
 - ・認知症高齢者見守り事業（やすらぎ支援事業）他
 - ②その他事業
 - ・介護相談員の養成および派遣事業
 - ・成年後見制度利用支援事業 他

317万8,000円

□ 介護サービス事業特別会計

- ・本別町指定居宅介護支援事業所の運営
 - ・本別町指定介護予防支援事業所の運営
- 3,608万円

☆ 乳幼児医療制度助成の拡大

- 課税世帯の小中学生に係る医療費の助成。
- （平成26年8月～） 242万5,000円

□ 妊婦健康診査助成

- ・妊婦検診 14回分
 - ・超音波検査 8回分
- 472万4,000円

□ インフルエンザ予防接種助成

- 対象：幼児、小・中・高校生、高齢者
- 271万3,000円

□ 乳幼児・学童定期予防接種の充実

- 878万6,000円

□ 特定健診および各種がん検診の充実

- 子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診など。
- 977万5,000円

□ 精神保健対策の充実

- 自殺予防対策として心理カウンセラーによる相談を月1回開催します。
- 48万円

□ 病院事業医療機器購入

- 全自動化学発光酵素免疫測定装置更新等
- 1,718万7,000円

ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

☆ 狩猟免許取得推進事業

有害鳥獣捕獲の担い手確保、拡充のため銃器の所持許可取得および狩猟免許取得費用の一部を補助します。…………… 15万2,000円

生活環境の向上と自然にやさしいまちづくり

□ 生活維持路線バス（浦幌線）の運行

浦幌駅～本別町国保病院間を1日4便、本別町と浦幌町の共同負担により予約制で運行します。…………… 1,403万7,000円

□ 包括交流連携事業

釧路管内白糠町との物産交流等を図ります。…………… 16万8,000円

夢と未来を育むまちづくり

☆ 「ほんべつ学」講座の開設

ふるさと本別をよく知ることによって本別町を理解し、本別にしかない魅力や地域の輝きを発見するため「ほんべつ学」講座を新たに開設します。…………… 9万8,000円

☆ 図書館・資料館事業

「木とふれあい、木に学ぶ」

「木材のまち」を推進している今、子供たちが「木」を通してふるさとの歴史や自然を学び、体験と交流を深め、学びの成果を表現する力を養います。…………… 12万3,000円

□ スポーツイベント「チャレジデー2014」

○開催日 5月28日（水）
毎年5月の最終水曜日に全国一斉に実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。年齢や性別を問わず15分以上運動するだけで、誰でも気軽に参加できます。…………… 12万円

□ 地方バス路線運行維持対策

十勝バス帯広陸別線を維持するための対策を図ります。…………… 363万2,000円

☆ 生ごみ等バイオマス利活用調査

地球温暖化防止、循環型社会形成、戦略的産業育成、新たな雇用確保等の観点から、バイオマスの利活用の調査研究を行います。…………… 84万9,000円

☆ 本のまち夢づくり講演会

本のまち夢プラン事業として、「ふるさと・本のまち」を発信するほか、文学世界をテーマにした写真展と講演、出前授業を開催します。…………… 35万6,000円

□ 資料館事業

「七月十五日本別空襲を伝える」 ～北海道空襲と本別～

北海道で5番目となる空襲被害を受けた本別と道内他のまちの空襲との関わりを考えます。また、新たに得た本別空襲の情報を伝えます。…………… 4万6,000円

□ 体育の日イベント

「義経の里スポーツフェスティバル」
町民マラソンや自然探索ウォーキング、ゲームラリー、縁日など、子どもから高齢者までスポーツ、健康づくりに親しめるイベントです。…………… 26万円

□ 防災対策の推進

・非常用食料および防災資機材の整備
・地域防災研修会および災害図上訓練の実施
・本別テレビ中継局非常用電源設備設置
…………… 1,002万6,000円

□ 東日本大震災被災地等支援事業

・宮城県南三陸町への職員派遣のため任期付職員の採用
…………… 614万1,000円
・宮城県南三陸町「福興市」参加支援 …… 93万6,000円

地場産業振興と企業支援で新たな雇用の創出を

□ 起業家支援奨励金

新たな事業活動、新分野での活動、新製品の開発に対する支援を行います。
・起業家支援
・新製品等開発支援
…………… 1,000万円

☆ 企業誘致奨励金

・固定資産税相当額奨励金
・雇用促進奨励金
…………… 970万4,000円

□ 雇用対策事業の推進

○緊急雇用創出推進事業
木工新製品調査事業（民間） …… 860万1,000円
○障がい者雇用推進
チャレンジ雇用の実施 …… 88万2,000円
○季節労働者雇用対策 …… 413万4,000円
○ワークシェアリング枠（高校生2人）
…………… 346万6,000円

☆ 新規作物調査研究事業

本町で栽培可能な新規作物の導入に向けて調査研究に取り組みます。…………… 100万円

□ 黒毛和種優良繁殖牛確保特別対策事業

…………… 210万円（本町負担分 60万円）

□ 生乳生産基盤安定特別対策事業

…………… 795万円（本町負担分 195万円）

□ いきいき商品券事業

地域商工業の活性化および景気対策として商工会に補助します。
・4,000万円分の商品券を発行、額面の15%上乘せ …… 650万円

□ 地域資源活用可能性調査

企業誘致に伴う資源調査、企業ニーズ調査およびコーディネート …… 324万円

□ 青年就農給付金

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。…………… 150万円

□ てん菜作付振興透排水性改善対策事業

てん菜の作付け維持確保および輪作体系確立のため、圃場の透排水性を図る農業者を支援します。…………… 286万円
（本町負担分 143万円）

□ 環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。…………… 755万1,000円
（本町負担分 377万6,000円）

□ **未来につなぐ森づくり推進事業**
● 民有林の植栽＝55ha …… 896万5,000円

□ **水道事業**
● ☆町道山手朝日町線通り配水管移設工事 …… 2,210万8,000円
● ☆町道栄町2号通り水道管整備工事 …… 350万5,000円
● ☆太陽の丘水道管整備工事 …… 399万円
● ☆上本別水道管整備工事 …… 1,660万円

□ **簡易水道事業**
● 町道東中西中間道路改良に伴う水道管移設工事 …… 713万4,000円
● ☆美里別No.1 取水井水位計更新工事 …… 217万4,000円
● ☆勇足浄水場沈殿池傾斜板装置更新工事 …… 688万2,000円

□ **下水道事業**
● 公共下水道 処理場機器更新等 一式 …… 1億309万4,000円
● 個別排水処理施設 合併処理浄化槽新設 8基 …… 1,863万4,000円

□ **営農用水道事業**
● ☆美蘭別地区営農用水事業
● 美蘭別地区専用水道確認申請書の作成委託 (平成27年度から工事開始) …… 205万3,000円

☆ **学校給食共同調理場改築**
● 旧調理場解体工事
● 車庫、物置改築工事
● 太陽光発電設備工事 (20kW)
● 外構2期工事 (駐車場舗装工事等)
● 平成26年4月からの供用開始に合わせ、「食物アレルギー対応給食 (除去食)」の実施、へき地保育所 (勇足、仙美里) への給食提供をします。
● …… 7,502万3,000円

□ **太陽の丘野球場建設**
● 今年度は、外野および外周芝整備、本部・トイレ整備を行います。(平成27年度供用開始)
● …… 3,516万5,000円

□ **道路改良**
● ☆町道美里別川沿道路道路改良工事
● 総延長＝1,000m、幅員＝4.0m、改良＝70m (平成26～30年度)
● …… 2,000万円

● ☆町道栄町2号通り道路改良工事
● 総延長＝120m、幅員＝4.0m、改良＝120m (平成26～27年度)
● …… 3,000万円

● ☆町道勇足元町5号通り
● 歩道拡幅改良工事
● 総延長＝200m、幅員＝2.5m、改良＝100m (平成26～27年度)
● …… 2,000万円

● **町道歩道拡幅化 (バリアフリー) 工事**
● 高齢者や障がい者などが、スムーズに横断できるよう歩道の一部を拡幅します。
● 2路線 …… 695万円

● **町道補修工事**
● 1,940㎡ …… 1,000万円

このほか道路整備事業として事業費1億6,500万円で4か所の町道を整備します

□ **多面的機能支払交付金**
● 施設の維持管理および環境保全管理の取り組みを行います。 …… 4,153万9,000円
● (本町負担1,038万5,000円)

□ **農業農村整備事業の推進**
● 道営事業
● ○畑地帯総合整備事業
● ・本別・勇足・仙美里地区工事 …… 5億3,000万円
● (本町負担分1億600万円)

本町負担分のうち、暗渠排水農家負担軽減対策 (パワーアップ事業) 3,116万3,000円

□ **国際交流研修**
● **オーストラリア・ミッチェル訪問**
● 中学生、高校生を姉妹都市に派遣し国際理解教育の推進と、交流、親善を深めます。
● 中高生14人 団長・随行 (大人) 2人 計16人
● …… 370万2,000円

□ **本別高校の教育を考える会補助金**
● ☆①入学準備支援の新設
● 入学の準備にかかる制服の購入費について補助します。
● ☆②通学費支援の拡大
● 遠距離通学費全額補助、下宿代補助
● ③進路指導対策事業、学力向上対策事業、特別活動支援
● …… 1,903万8,000円

□ **小学生小松島市交流研修**
● 友好都市である徳島県小松島市と本町の小学生を相互に派遣し交流を深めます。 …… 60万円

□ **「ほんべつ学びの日」関連事業**
● 子どもから大人までが展示や体験コーナーなどの一日楽しめる内容で「ほんべつ学びの日フェスティバル」を開催します。家庭・学校・地域が融合し、広く町民に「ほんべつ学びの日」を普及啓発し、学習意識の高揚と地域の教育力向上を図ります。

ハード事業編 Part 1

建物、道路などの事業

☆ **旧ふるさと銀河線跡地の対策**
● 本別川橋りょう補修工事 …… 590万円

□ **向陽町団地公営住宅改善事業**
● 最適改善手法調査設計委託、移転料 …… 426万3,000円

☆ **仙美里ゲートボール場**
● **屋根ふき替え**
● 338.2㎡ …… 202万円

☆ **高規格救急車の購入**
● 高度救命用資機材一式含む …… 3,206万3,000円

□ **町有林造林事業**
● フラツナイ、美蘭別地区ほか
● 下刈＝8.64ha
● 除伐＝7.26ha
● 準備地拵＝8.32ha
● …… 638万7,000円

□ **本別コミュニティセンター (道の駅) 遊具整備**
● 滑り台1基 …… 151万2,000円

☆ **新町団地公営住宅改善事業**
● 耐力度調査 (1棟)、屋根塗装 (2棟8戸) …… 343万4,000円

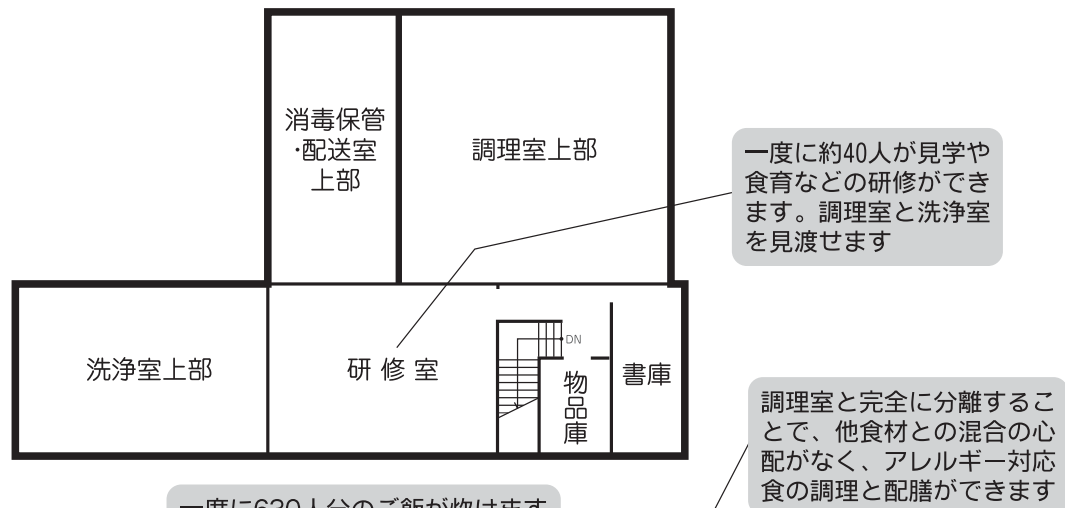
□ **スクールバスの購入**
● 29人乗り1台更新 …… 858万7,000円

□ **エネルギー対策の推進**
● 本別町新エネルギービジョンに基づき、地球温暖化対策に取り組みます。
● ・太陽光発電システム導入補助金
● 一般住宅 6万円 / 1kW (上限＝4kW、24万円)
● …… 168万円

□ **民有林造林促進事業**
● 人工造林＝3ha 下刈＝180ha 除間伐＝25ha
● 造林未済地対策＝58ha
● …… 500万3,000円

調理場内のご案内

2F



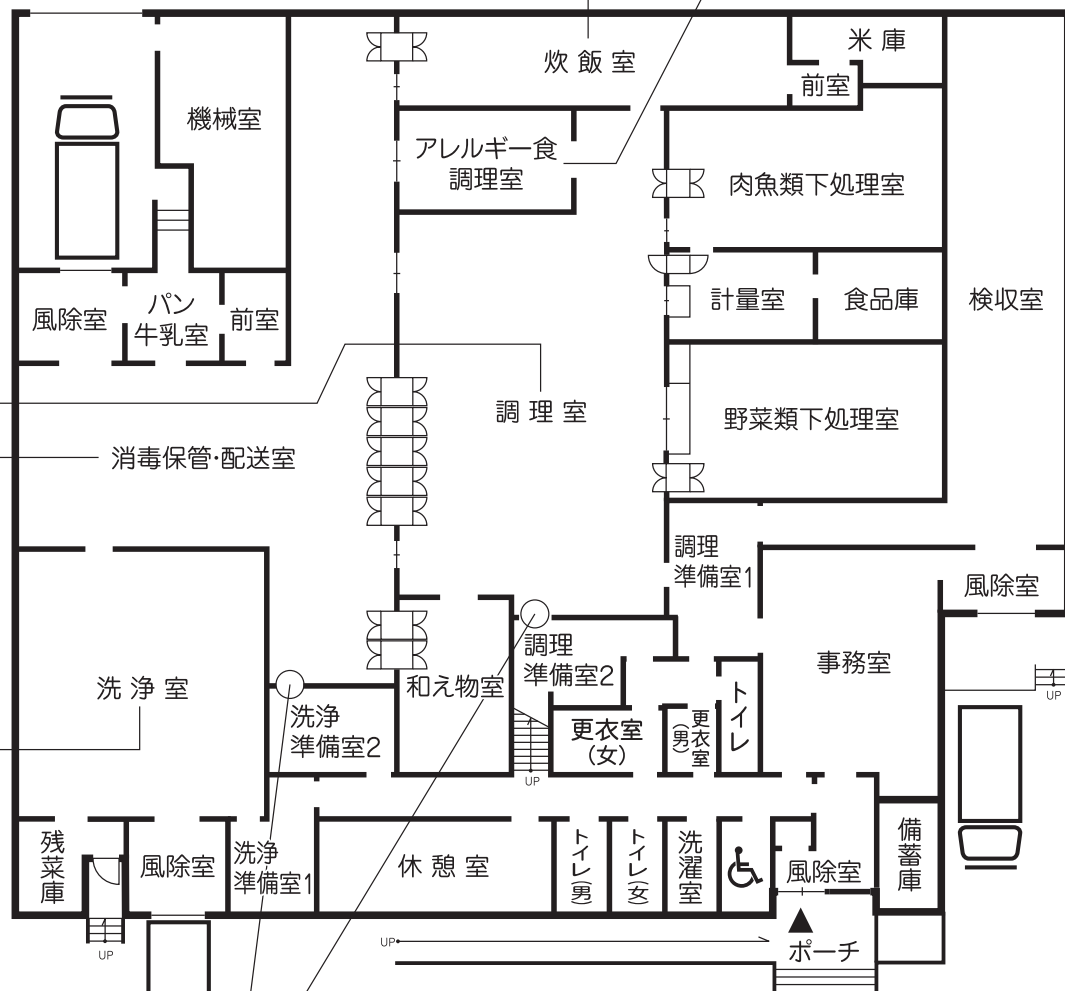
一度に630人分のご飯が炊けます

1台で280人分のカレー調理ができる回転釜4台（電気式、ガス式各2台）を設置。ガス式は停電時でも使用でき、災害時にも調理可能です

コンテナ式消毒乾燥機を設置。熱風で食器・食缶の消毒と乾燥を自動で行います

食器、食缶、箸等を自動洗浄します

1F



エアシャワー室=入室前に壁面の吹出し口から風速約25m/sの清浄空気を吹き付け、白衣や体についたほこりやごみを取り除きます

施設の概要

- 構造 鉄筋コンクリート造 一部2階建
- 延床面積 共同調理場 961.26㎡
排水処理施設 13.28㎡
- 調理能力 800食

問い合わせ

本別町学校給食
共同調理場
☎22-3226

食育 地産地消

子供たちに
安全・安心で、
おいしい給食を

新本別町学校給食共同調理場完成 本別中央小学校西側



新本別町学校給食共同調理場からの給食提供が4月8日(火)からスタートします

旧調理場の老朽化および衛生管理の徹底を図るために建設を進めてきた、新本別町学校給食共同調理場が今年2月に完成し、4月8日(火)の小中学校の新学期から給食提供を始めます。給食の提供は、町内5つの小中学校と、新たに勇足・仙美里へき地保育所が加わり7か所となります。

この施設では、児童生徒への給食提供だけでなく、食育や地産地消の推進にも取り組みます。

学校給食とは

実際に食べるという体験を通して、栄養バランスの取れた食事の大切さを学ぶとともに、みんなで準備や会食をすることによって社会性を養うなど、単なる昼食ではなく、学校における教育活動の一環として実施されています。また、地場食材の活用や季節感のある献立など、食育の生きた教材として活用することもできます。

衛生的で効率的な調理システム

新調理場では、衛生管理の徹底を図り、食材搬入から調理・配送・保管・洗浄等に至るまで食材や人が交差しないワンウェイ(一方通行)方式を採用し、汚染防止を図り、衛生的で効率的な調理ができるシステムを導入しています。

この他、食物アレルギーを持つ児童・生徒のための調理室を設置しました。このことで、他の食材が混合する心配なく、アレルギー対応食の提供が可能になります。

事務室や廊下のこし壁、2階への階段と研修室の壁一面には、本別産力ラムツ材を使用し、木の香りと温もりを感じることが出来ます。研修室からは調理場と洗浄室が見渡せ、見学機能と学びの機能を持ち、児童・生徒等の研修や学習の場としても活用が可能です。

双日北海道与志本

本別工場完成記念式・祝賀会



フル稼働する新工場

地域の発展、安定雇用に努める

本別町が企業誘致を進め、平成24年11月28日に本別町と「本別町進出に関する基本協定書」を締結した、双日北海道与志本（加藤裕司社長）の本別工場完成記念式・祝賀会が3月10日、南4丁目の工場見学の後、中央公民館で開催され、関係者など約130人が出席し工場完成を祝いました。

式典では、加藤社長が「道産カラマツ材の需要が高まっている。本別工場では、安全第一に稼働し、地域の発展、安定雇用に努めたい。販売・製造は責任を持って進めていきます」とあいさつ。続いて、高橋正夫町長らがお祝いの言葉を述べた後、事業に貢献した6人に感謝状が贈られました。



式辞を述べる 加藤裕司社長

同工場は、道内5番目の工場として、最新鋭の機械を備え、従業員21人で昨年12月24日から操業をスタート。工場の規模は道内最大で、梱包材、チップ、オガなどの製造販売を行い、生産額4億7,000万円を見込みます。

「福祉でまちづくり宣言」

記念事業



座談会の様子。左から復興支援隊の町職員、放送スタッフの工藤浩典さん、平形有子さん、芳賀敦さん、大妻女子大学松浦哲郎助教、同隊町職員

本別町健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）などが主催する「福祉でまちづくり宣言」記念事業が2月28日、「南三陸発…まちを思う気持ち…つながる大切さ」をテーマに中央公民館で開催され、約250人の来場者がまちづくりに欠かせない人と人とのつながり、絆の大切さを心に刻みました。

助成金活用でまちづくり宣言

記念事業では、井出会長のあいさつに続き、出席者全員で「福祉でまちづくり宣言」を朗読した後、南三陸町復興ドキュメンタリー映画「ガレキとラジオ」の上映が行われました。映画は、東日本大震災の発生2か月後から10か月間の期間限定で開設された南三陸町災害FMラジオ局「FMみなさん」が舞台で、9人のスタッフが被災者へ災害・復興情報を放送し町の人に元気と感動を届けようと奮闘する姿を写したものです。上映後には同スタッフら4人と南三陸町復興支援隊の本別町職員2人による座談会が行われ、この中で、同ラジオ局の開設を支援した大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科の松浦哲郎助教は、「ラジオには共助を育み、人と人をつなぐ力がある。この助け合う心や、町を思う気持ちをまちづくりや福祉に生かしてほしい」と強調しました。

最後に放送スタッフの工藤浩典さんら3人は、10年後、20年後の南三陸町への思いを語り、「震災を忘れず被災地のことをもつと知ることが支援につながる。ぜひ南三陸町に遊びに来てください」とメッセージを送りました。



座談会に耳を傾ける来場者

国民年金

こんなときは国民年金の手続き(種別変更)が必要です!

日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになっています。

加入の種類(種別)は、

- ◎第1号被保険者…自営業者や学生、無職の人など
- ◎第2号被保険者…厚生年金や共済組合の加入者
- ◎第3号被保険者…第2号被保険者に扶養されている配偶者(収入が一定額を超えない人)

の3種類に区分されています。ご本人の結婚や配偶者の就職・転職などで国民年金の加入の種類(種別)が変わることがあり、左記の表のように、種別変更等の手続きが必要となる場合があります。手続きをされなかった場合は、病气やけがで障がいが残ったときや、死亡した場合の障害年金・遺族年金を受け取ることができなくなる場合もありますので、必ず手続きをしてください。

その144

こんなとき	被保険者の種別	手続き先
学生やフリーターなど、厚生年金や共済組合に加入していない人が20歳になったとき	未加入→第1号	住民課戸籍年金担当
第2号被保険者に扶養されている配偶者が20歳になったとき	未加入→第3号	配偶者の先勤務
配偶者が就職して第2号被保険者になり、その第2号被保険者に扶養されるようになったとき	第1号→第3号	配偶者の先勤務
第2号被保険者が60歳になる前に、会社などを退職したとき	第2号→第1号	住民課戸籍年金担当
第2号被保険者である人が会社などを退職し、第2号被保険者である配偶者に扶養されるようになったとき	第2号→第3号	配偶者の先勤務
第2号被保険者(配偶者)に扶養されていた人で、その配偶者が退職したとき	第2号→第1号	住民課戸籍年金担当
年金受給資格がある第2号被保険者(配偶者)が65歳になり、その配偶者に扶養されていた人が60歳未満のとき	第3号→第1号	住民課戸籍年金担当
パート収入が130万円を超えたときなど、配偶者の扶養から外れたとき	第3号→第1号	住民課戸籍年金担当

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
0222-8128

受賞おめでとうございます

平成25年度 町教育功績者 少年少女文化・スポーツ奨励賞

17個人、4団体

教育功績者

P.T.A役員として、学校教育活動を始めP.T.A活動推進と本町の教育振興に多大な貢献をされました。

加藤勝廣さん（東仙美里）



志戸田由美子さん（勇足元町）

少年少女文化奨励賞

【個人】

- 木南璃子さん**（中央小2年）
第4回北海道ジュニアピアノコンクール E課程……………最優秀賞
- 第5回全日本ジュニアピアノコンクール E課程……………銅賞**

- 山西祐二さん**（上押帯）
- 山田英樹さん**（勇足西5）

- 松本伶美さん**（中央小4年）
全十勝珠算競技大会 読算競技
小学校4年生以下の部……………優勝

- 前川愛莉さん**（中央小6年）
第4回北海道ジュニアピアノコンクール……………最優秀賞
- 第5回全日本ジュニアピアノコンクール……………入賞**

- 内田亜美さん**（仙美里中2年）
平成25年度十勝子ども大会
英語暗唱の部……………最優秀賞



【団体】

- 廣田七菜さん**（中央小4年）
門田乙莉愛さん（中央小4年）
第47回カワイ音楽コンクール ピアノ部門 帯広地区予選会
連弾の部Bコース……………入賞

【団体】

- 本別水泳スポーツ少年団**（8人）
第25回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
100mフリーリレー……………第1位
女子200mフリーリレー……………第1位



本別中学校剣道部（6人）

- 第13回全十勝中学校春季剣道大会 男子団体……………優勝
- 第43回全十勝中学校夏季剣道大会 男子団体……………優勝
- 第16回全十勝中学校秋季剣道大会 男子団体……………優勝

平成25年度「町教育功績者表彰式」ならびに少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が3月8日、多くの保護者や関係者が見守る中、中央公民館で執り行われました。両式典とも、主催者を代表して水谷令子教育委員長のあいさつに続き、高橋正夫町長ならびに方川一郎町議会議長がお祝いの言葉を贈りました。町教育功績者表彰を受賞した加藤勝廣さんは「今後もP.T.A活動で子供たちのために尽くしたい」、少年少女文化・スポーツ奨励賞受賞者代表の安部桃歌さんは「指導してくれた先生、保護者に感謝し、今後も技術向上を目指して頑張ります」とお礼のことは述べました。功績者および受賞者は次の通りです。



- 安部桃歌さん**（本別中3年）
向井恵梨奈さん（本別中3年）
第46回カワイ音楽コンクール 北海道本選会
ピアノ連弾部門Aコース……………努力賞

少年少女スポーツ奨励賞

【個人】

- 荒井将仁さん**（中央小1年）
第25回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学1年男子25m自由形……………第1位



- 杉原明己さん**（中央小1年）
第25回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学1年女子25m背泳ぎ……………第1位
小学1年女子50m自由形……………第1位

- 木下直人さん**（中央小2年）
第25回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学2年男子50m背泳ぎ……………第1位

- 吉田彩花さん**（中央小2年）
第25回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学2年女子25m自由形……………第1位

- 野崎将秀さん**（本別中2年）
第43回全十勝中学校夏季剣道大会 男子個人……………優勝
- 第16回全十勝中学校秋季剣道大会 男子個人……………優勝

- 第28回北海道スポーツ少年団剣道交流大会
中学生男子個人……………第3位



- 山田みゆきさん**（勇足中3年）
第15回北海道ジュニア陸上競技選手権大会
ジャベリックスロー……………第1位

- 太田龍聖さん**（本別中2年）
第6回KWFワールドカップ
12歳-15歳形の部……………優勝
- 千代学さん**（本別中3年）
第44回北海道中学校陸上競技大会
男子走幅跳……………第8位

- 真田知苑さん**（本別中3年）
第44回北海道中学校陸上競技大会
女子100m……………第5位
女子100mH……………第4位
第15回北海道ジュニア陸上競技選手権大会
女子A100m……………第6位
女子A100mYH……………第4位

各学校の手作りページ

HELLO 本別中央小学校

本別中央小学校は、昨年度も様々な活動をしました。ほぼ毎週発行した学校だよりの中から、皆さんにぜひお知らせしたい活動をご紹介します。

ハッピーランチ ～みんなでたのしもう (中央小だよりの第27号から)



いつもと違った雰囲気
給食を楽しむ児童

各学校にはいろいろな伝統がありますが、本校の伝統行事の一つにイベント委員会企画の「ハッピーランチ」があります。2つの学年が体育館で一緒に給食を食べてさらに仲良くなるという催しです。配膳は上の学年とイベント委員会が行うようになっています。11月13日は2年生と6年生のハッピーランチでした。実は前日に朝の挨拶で教室に行くと、2年生ではハッピーランチのことが話題になっていました。楽しみにしている様子がわかりました。全校生が仲良くなる取り組みはどんどん続けてほしいと思います。ちなみに14日は3年生と4年生、15日は1年生と5年生です。12月にも企画しているそうです。中央小の自慢の一つになっています。

第1回本別町子ども議会体験学習 (中央小だよりの第32号から)



真剣な眼差しで、議会について学ぶ子供たち

12月16日に6年生が町役場3階の議会議場において、本校初めての模擬議会議場を体験してきました。議員さんや町の管理職の方々が立ち会っての学習は初めてでとてもためになりました。そもそも、今回は学校から社会科の学習で議会の様子を聞いたり、議場見学をお願いしたところ、議会事務局の人から今回の企画の提案があったそうです。それで、第1回と銘打っていたことのように、6年生の緊張感はかなりのものでした。質問が全部で12ありまして、一人一人が質問し、総務課長さんや議員さんからの答弁がありました。答弁についても、かなりわかりやすい言葉で答えてくれましたので、

簡潔明瞭で子供たちの手本になりました。議会の人も初めてということもあり、新聞社や広報などの取材もいつも以上だったので、模擬とは言え緊張感の中での体験学習でした。質問では、「本別町の公園の遊具は、幼児向けのものが多く、小学校高学年向けのものも設置してほしい」と質問すると、「今年度まで3年間町内の公園の遊具を更新してきて、高学年には本別公園等の遊具を活用していただきたい。」というような答弁でした。再質問ができるかとも思いましたが、ここで了承。こんなやりとりが15分以上続きました。最後に子どもからお礼の言葉を述べると、議長役の副議長さんから、ぜひしっかり勉強して、この場に職員・議員として戻ってきて将来の本別町に力を貸して欲しいという言葉がいただきました。



質問は子どもならではの視点で

Information

住民総参加型スポーツイベント

CHALLENGEDAY

対戦相手決定

対戦相手が、3月4日に決まりました。

対戦相手は…… **和泊町** (鹿児島県)

和泊町は、鹿児島県の南部、沖永良部島東部に位置する、隆起サンゴ礁に覆われた島です。産業は農業が中心で、特に花き栽培が盛んな町として知られています。

▶和泊町と本別町の概要

項目	和泊町	本別町
チャレンジデー実施回数	11回目	4回目
人口 (H26.2.1)	6,952人	7,907人
面積	40.37km ²	391.99km ²
年平均気温	22.4℃	6.1℃
年降水量	1,836.0mm	772.0mm



本別町チャレンジデー2014

- とき** 5月28日(水) 午前0時～午後9時
- ところ** 町内ならどこでもOK
- 対象** 子どもから大人まで
- テーマ** スポーツは健やかな日々へのパスポート



本別町チャレンジデー参加自治会の声

南4丁目自治会総務部長 菊地利昭さん

南4丁目自治会は、チャレンジデーにこれまで3年間参加しています。平日なので、早朝に南公園でラジオ体操とゴミ拾いを行っています。例年約40人程度の参加があります。早朝の新鮮な空気を胸いっぱい吸いこむとスッキリ爽やか。元気に体を動かしています！



参加団体を募集しています!!

実行委員会では、健康づくりのきっかけとしてチャレンジデーに参加する自治会、企業、グループなどの団体を募集しています！参加される団体には参加賞を用意するほか、自治会の取り組みは事前にチラシでお知らせします。

詳しくはチャレンジデー実行委員会事務局までお問い合わせください。

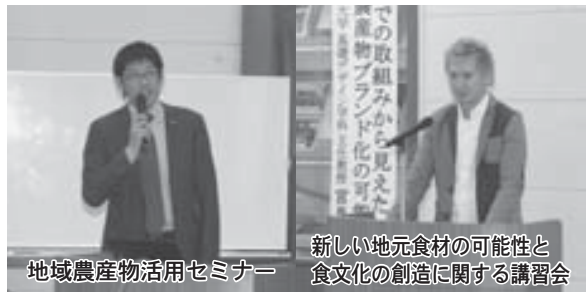
問い合わせ

実行委員会事務局 (町体育館内スポーツ担当)

☎ 22-2331

地元食材から ブランドづくりへ 2 25 3 12

本別町で生産される豊かな農産物を生かしたブランド作りを進めるための、地域農産物活用セミナーが2月25日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開かれ、砂川市などで菓子を製造販売する「ほんだ菓子司」の本田啓輔さんが、「心を売る」からの商品づくり」と題して、大阪府岸和田市でパンなどを製造販売する、タマヤの田中優宏さんが「つながりを大切に“テマヒマ”かけて納得する商品づくり」と題して講演しました。本田さんは、「商品の良さを知ってもらう努力が必要。消費者は、値段だけではなく会社や作り手の思いを見ている」、田中さんは、「材料は国産小麦にこだわり、農家と契約栽培している。手作業で心を込めて作っている」などと、商品作りや原料へのこだわり、生産者とのつながりの大切さを強調。参加した町内農業者や飲食店経営者など49人は、商品と原料の作り手双方の結びつきなど新たな可能性について学びました。3月12日には、新しい地元食材の可能性と食文化の創造に関する講習会が同会場で開催され、本町出身で東京都内にフランス料理店「ル・ブジョン オガサワラ」など3店を展開する、小笠原正人シェフが、「フランス料理に見る地場産食材（豆）の使われ方」と題して講演。小笠原さんは、「食材にこだわる客が多く、北海道ブランドが強いため、十勝の農産物を多く使っている」と素材選びについて述べたほか、自分が食べておいしいと思える料理しか提供しないことなど、料理人として大切にしていることを語り、61人の参加者は、本別で生産される農産物の素晴らしさを再認識しました。



地域農産物活用セミナー
新しい地元食材の可能性と食文化の創造に関する講習会

碁盤見つめ真剣勝負 2 23

第34回町民囲碁大会（町文化協会主催）が2月23日、老人福祉センターで開催されました。大会はA・B2階級制で行われ、参加した町内の囲碁愛好家16人は、真剣な表情で碁盤を見つめながら息詰まる対局を展開。会場には、パチンパチンと碁を打つ音が響き渡っていました。



個性あふれる踊りを披露 2 23

第37回舞踊祭（町文化協会主催）が2月23日、中央公民館で開催されました。出演したのは、同協会に加盟する日舞や剣舞、バレエなど10団体約40人。舞台では、華やかな衣装を身にまとった出演者らが、日ごろ練習した個性あふれる踊りを披露しました。会場には、約180人が訪れ、舞台上で繰り広げられる踊りに大きな拍手を送りました。



好奇心を持ち、おもしろい と思うことを探そう 2 21

「ようこそ！先輩～ふるさと先生の出前授業・しごと編～」が2月21日、本別中央小学校（帰山孝美校長、264人）6年生51人を対象に同校で開催されました。講師は同校を1998年卒業の大和田努さん。大和田さんは、帯広百年記念館で歴史の学芸調査員として勤務していることから、11月19日の4年生に続き、今回は博物館や学芸員の仕事について紹介しました。写真で「本別の昔と今クイズ」をしたり、アンモナイトの化石を見せたりしながら「好奇心が大切。たくさん謎に気づき、おもしろいと思うことを探そう」「まったく関係のないようなことが、将来の自分につながることもある。勉強はできるうちにおこう」と語り、小学生のころから好きだった歴史が、今の自分の仕事になっていることの楽しさを後輩たちに伝えました。



懐かしい映像を上映 2 19

NHKが過去に放送した番組を上映する、とち出前シアター（NHK帯広放送局・本別町共催）が2月19日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。この日上映されたのは、平成元年放送の「愛馬のいななきが聞こえる～戦場に倒れた軍馬たち～」、平成5年放送の「秋空に豆の実りの願いかけ～本別町～」、平成9年放送の「今日も鉄路にやすらぎ乗せて～ふるさと銀河線～」の3本。約40人の来場者は、スクリーンに映し出される懐かしい映像に見入っていました。午前中には、同局の生放送番組つながる@とちかちカフェの中継も行われ、町内の社会福祉士などで構成される本別・フリーライフ（中島由昌リーダー）が出演。介護保険制度を時代劇風の演技で、わかりやすく解説しました。



鋭い1本を打ち込む 2 20

本別剣道連盟（鈴木清志会長）主催による町剣道大会が2月20日、柔剣道場で開催されました。大会に出場したのは、本別剣道スポーツ少年団等に所属する小中学生14人。試合は、小学生の部、中学生の部に分かれて行われ、選手らは優勝目指し、緊張感のある攻防から一瞬の隙をつき鋭い1本を打ち込み、技が決まるたびに応援に駆け付けた保護者などから拍手が送られました。成績は次の通り。（敬称略）
小学生の部 優勝＝府川慧哉
中学生の部 優勝＝野崎将秀



声援受け、練習の成果競う 2 23

第34回本別町室内陸上競技会（本別陸上クラブ主催）が2月23日、銀河アリーナで開催されました。大会には、十勝管内の小中高校など38団体から341人が出場。男女別で200m走や砲丸投げなど24種目の競技が行われ、選手たちは父母やチームメートの大きな声援を受けながら、日ごろ鍛えた力と技術を競い合いました。



息の合った演奏に大きな拍手 3 1

本別ジュニアブラスアンサンブル（古山明日香部長）第16回定期演奏会が3月1日、本別中央小学校で開催されました。演奏は3部構成のプログラムで行われ、9人の部員がそれぞれのパートに分かれアニメや映画のテーマソングなどアンコールを含め全11曲を披露。第3部では池田小学校吹奏楽クラブ、本別ブラスアンサンブルとの合同演奏も行われ、息の合った演奏に会場を訪れた父母や友人約60人から大きな拍手が送られました。



高齢者相互の親睦と交流を図る 3 2

本別町老人クラブ連合会（野中栄一会長）主催による第28回高齢者文化祭が3月2日、中央公民館で開かれました。このイベントは、高齢者相互の親睦と交流を目的とするもので、ステージ上では、同会に加盟する12クラブから出演した28組約80人のほか、高橋町長一座が、日々練習を重ねてきた自慢の歌声や踊りを披露。約150人の観客は、発表が終わる度に出演者に温かい拍手を送りました。



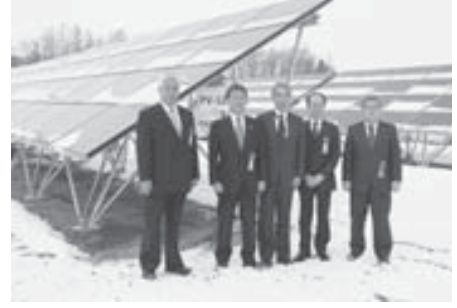
東北3町スポーツ交流会 3 2

足寄、陸別、本別の3町持ち回りで実施されている十勝東北部冬季スポーツ交流会（十勝東北部体育振興会議主催）が3月2日、町体育館で開催されました。この日は、3町から12チーム約40人が出場。選手らは、6枚のディスクをポイントに向かって投げ、その近さによって得点を競うディスクコンで爽やかな汗を流し、交流を深めました。



ソーラー発電所稼働 3 5

ほくでんエコエナジー（高橋耕平取締役社長）が昨年8月に着工した本別太陽の丘ソーラー発電所の竣工式が3月5日、現地などで行われ、関係者など約30人が出席し完成を祝いました。施設は3月3日から既に稼働しており、高橋社長は、「1日でも長く運転出来るよう皆様のご支援、ご指導をお願いします」とあいさつ。施設には、240ワットのモジュール7,084枚が設置され、合計出力1,500キロワット。二酸化炭素削減効果は年間約970トンを見込みます。



日本を元気にするのは、自治体 3 6

「地域が頑張る」まちづくり研修会が3月6日、「地方が今、頑張ること」と題して町体育館で開かれ、十勝東北部の町職員等約80人がこれからの自治体のあるべき姿について考えました。講師は、本別町出身で政策シンクタンク構想日本の総括ディレクター伊藤伸さん。衆参議員秘書や事業仕分けに携わった経験を持つ伊藤さんは、中央からの視点で、現在の住民と行政の関わりや自治体の現状、さまざまな事業仕分けの実例などを紹介。日本全体が元気になるためには、自治体が元気でなければならぬと強調したほか、自分の仕事はどこに向かっているかをしっかり検証することが大切であるとアドバイスしました。



図書館司書などが研修 3 7

十勝管内公共図書館協議会による後期職員研修会が3月7日、「読む喜び・伝える楽しさ」をテーマに図書館で開かれました。この日は、児童文学者の加藤多一さんが講演。加藤さんは、「生きることは、選ぶこと。人生での一番いい選択は自分で選ぶことが望ましい」などと述べ、出席した管内の図書館司書など約40人が耳を傾けました。



骨盤ケアでリフレッシュ 3 9

「心と身体のリフレッシュ～骨盤ケアを活用して～」と題した講習会が3月9日、助産師の三浦智奈美さんを講師に子育て支援センターで開かれました。これは、子育て支援センターの日曜開放ファミリーデーにおいて行われたもので、三浦さんは、出産による母体の骨盤の変化について説明した後、子どもの骨格、筋力づくりのために親子で取り組んでほしい遊びやママの骨盤のゆがみを改善するストレッチを紹介。参加した11人は骨盤周りの筋力を保つコツや日常生活での座り方のポイントなどを学び、リラックスしたひとときを過ごしました。



税をテーマとしたポスター 本中生、仙中生が入賞 3 11

第28回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集において入賞した本別中学校と仙美里中学校の生徒3人への表彰式が3月11日、両校で実施され、安部隆十勝総合振興局課税課長から賞状と記念品が手渡されました。生徒らは、「まさか入賞できるとは思わなかったのでうれしい。これからも頑張ります」などと喜びを語りました。このほか、同ポスター募集に熱心に取り組んだ功績が認められ、本別中学校へも奨励賞が贈られました。受賞者は次の通り。（敬称略）

- 北海道教育委員会教育長賞 = 入選 谷川雅知（本別中1年）
- 十勝総合振興局長賞 = 金賞 河野愛梨（本別中1年）
- 十勝総合振興局長賞 = 銅賞 篠原彩加（仙美里中1年）



本別中学校



仙美里中学校

町内3中学校で卒業式 3 14・15

本別中学校と勇足中学校の卒業式が3月14日に、仙美里中学校の卒業式が同15日に実施され、3中学校合わせて73人が義務教育課程を終え、思い出の学び舎を後にしました。式では、多くの卒業生の保護者が見守る中、各校校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されたほか、祝福の言葉が贈られました。今年度で閉校となる仙美里中学校では、教諭や生徒らで、石碑の中に将来の自分に宛てた手紙などが入ったタイムカプセルを収める作業も行われ、10年後の4月29日午前11時に集まることを誓い合いました。



未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



南4丁目
宮本 海斗くん
(美優ママ)



清里
高橋 絢子ちゃん
(康子ママ)



柏木町
原 望天ちゃん
(佐和子ママ)



柳町
松井 湊くん
(絵里香ママ)



向陽町
田村 羽菜ちゃん
(絢ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

みんなの健康

356



胎児への薬の影響は、胎児の月齢、薬の効能、用量によって決まります。妊娠2か月以内なら投与された薬物に毒性があれば、流産してしまいます。2-4か月は先天異常が出やすい危険な時期です。この段階で胎児に到達する薬は、流産や先天異常が発生

アレルギー性鼻炎における妊娠初期のお薬の使い方

胎児への薬の影響は、胎児の月齢、薬の効能、用量によって決まります。妊娠2か月以内なら投与された薬物に毒性があれば、流産してしまいます。2-4か月は先天異常が出やすい危険な時期です。この段階で胎児に到達する薬は、流産や先天異常が発生する危険があります。それ以後では、薬物が入っても先天異常は起こりにくいのですが、正常に形成された胎児の器官や組織の機能と成長を変化させることがあると言われています。

つわりの薬は基本的には抗ヒスタミン薬です。これはアレルギー性鼻炎で使われる薬と同じ仲間ですが、基本的に安全ではありませんが、胎児の血液には入りません。

アレルギー性鼻炎に
おける妊娠初期のお薬の使い方

最近のステロイド点鼻薬は、点鼻薬は、胎児の血液にほとんど入らないので、とても安全性が高いです。大切な妊娠、薬を使うのは怖いという印象がぬぐえないかもしれませんが、妊娠早期はできるだけ薬物以外の治療法とし、症状が強いときはステロイド点鼻薬を用い、後期には安全な内服薬を使うのが妥当でしょう。

本別町国民健康保険病院
副院長 郡山智也

銀河ホップダンス

一足寄町・陸別町から

足寄町

ネイパルあしよろ
春のこどもフェスティバル

春のこどもフェスティバルでは、工作や熱気球搭乗体験などたくさんの催し物が行われます。お友だち同士やご家族でぜひ遊びに来てください。



□とき 5月5日(月)
午前9時～午後3時

□ところ 道立足寄少年自然の家
(ネイパルあしよろ)

□内容 熱気球搭乗体験、塗り絵、木の実クラフト、おがカラー、積み木・おもちゃ、絵本の読み聞かせ、木の玉ボール、ヒップホップダンスなど

□詳細 道立足寄少年自然の家
☎2516111

陸別町

第26回日産カップ
オールジャパンパッチ
選手権大会in陸別

大人のためのパッチ(メンコ)の大会です。「もう一度あのころの腕を振りたい!」そう思っているあなた!ぜひ一度ご参加ください。



□とき 4月20日(日)
午前10時～

□ところ 陸別町タウンホール

□参加資格 20歳以上の男女

□参加料 1700円

□参加申込 電話で先着96人

□問い合わせ・申込先 陸別町役場産業振興課内
大会事務局

☎2712141 内線135

ご寄付ありがとうございます

平成26年2月17日から3月14日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町図書館指定
児童図書 19冊 (50,000円相当)
…………… 帯広市 帯広発明協会 会長 土谷 紀明
- ★本別町老人ホーム指定
雑巾 52枚、タオル 35本
…………… 本別町赤十字奉仕団 委員長 佐藤 郁子

タオル 150本
…………… 本別町役場職員夫人一同 代表 高橋 照子
トイレットペーパー40ロール・タオル220本
…………… 本別町農業協同組合女性部

★本別町国民健康保険病院指定
タオル 60本
…………… 本別町役場職員夫人一同 代表 高橋 照子

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金 10,000円 ……………… 匿名

本のある暮らし

157

ムーミン、80歳おめでとう!

戸籍のまど

お誕生

1月後半から
2月前半の
届出分

- 水城 航^{わたる}くん 英明^{ひな}さん 2/17 北6丁目
- 福家 立^{たつ}運^{ゆき}くん 賢和^{けんわ}さん 2/19 朝日町
- 谷内田 耀^{ようちろう}一朗^{いちろう}くん 俊文^{しゅんぶん}さん 3/1 向陽町

おくやみ

- 綱島ケイ子^{けいこ}さん 91歳 2/23 仙美里3
- 岡田カツ子^{かつこ}さん 78歳 2/24 柏木町
- 仲田タケ^{たけ}さん 95歳 3/1 南1丁目
- 角ミサ^{みさ}さん 91歳 3/3 北2丁目
- 弓削ふみ^{ふみ}さん 92歳 3/4 北6丁目
- 河原サワ工^{さわこう}さん 86歳 3/7 東本別
- 高橋文一^{ぶんいち}さん 84歳 3/13 勇足元町

ムーミンワールドが図書館にやってくる

かわいいムーミンたちが待っています!
(制作: 図書館ボランティアがつくる)

2014年は、テレビや絵本でおなじみ「ムーミン」の生みの親、トーベ・ヤンソンの生誕100年と、ムーミンが世に出て80年を迎える記念の年です。

そこで「こどもの読書週間」(4/23~5/12)に、図書館で「ムーミンフェア」を開催します。ムーミンファミリーの人形やペーパークラフトの展示、絵本や画集・DVDの貸し出しコーナー、館内のあちこちに隠されたプレゼントクイズなど、お楽しみがもりだくさん!お菓子づくりとぶっくるカフェのイベントもあります。

不思議な魅力を持つムーミンの世界で、心を遊ばせてみませんか?

※詳しい内容は、くらしの情報紙「かけはし」4月15日号でお知らせします



たくさん利用してくださいね

ムーミンってなあに?

フィンランドの作家トーベ・ヤンソンの小説に登場する架空の生物(妖精)で、主人公「ムーミントロール」の略称。小説の後、マンガ、絵本、アニメーションで世界中の子供たちに親しまれ、日本では1969年からテレビアニメ化されました。



わたしたちのまち

前月比
人口 **7,877人(-30)**
男 **3,862人(-22)**
女 **4,015人(-8)**
世帯数 **3,769戸(-18)**
〔2月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶっくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112